

女城主直虎検定

問1～50 採点範囲はNO80まで、残り20問は番外とする。

問題制作 姫街道連絡協議会 姫街道未来塾

/50

写真で答える

初めの13問は各地の写真で答える問題です。

その世のゆかりの地

井伊谷周辺

龍潭寺

■注意事項 神社仏閣等を訪ねる場合は一言ご挨拶をしてください。各施設への電話での問い合わせは絶対にやめてください。 問51～100 一人で現地調査に向く場合など、携帯電話等で家族と連絡が取れるようにしておいてください。

キリトリ線→

51. ()]	51. 山吉田の満光寺の上にある柿本城は井伊谷三人衆の [a近藤康用、b菅沼忠久、c鈴木重時] の居城で、登り口にはその名の櫓が立っている。
52. ()]	52. 満光寺に家康を助けたニワトリの伝説がある。お寺の奥座敷にニワトリの絵が飾られている。そこに親鳥10羽とヒヨコが[a3、b4、c5]羽描かれている。
53. ()]	53. 頭陀寺に浜松で最も古い道標がある。正面に頭陀寺薬師道、左にやくしみち、右に [aやくしみち、bおくやまみち、cあきはみち] とある。
54. ()]	54. 松下家は頭陀寺城ともいわれ [a 2001、b 2010、c 2015] 年に発掘調査が行われた。間違いはどれか。
55. ()]	55. 頭陀寺には野菜に疫病、厄難を封じ込め、夏の暑さ乗り切る儀式がある。 [aなす、bきゅうり、cかぼちゃ] を納める。
56. ()]	56. 井伊直平が毒茶を飲まされたという伝説の曳馬城跡にある東照宮の鳥居は、大正 [a5、b6、c7] 年に大日本報徳社によって建てられた。
57. ()]	57. 南北朝時代の西の要は千頭ヶ峯城で、当時の守将は井伊氏一族の奥山 [a朝藤、b朝種、c朝守] といわれ3か月の攻防の末北朝軍に取れた。
58. ()]	58. 正楽寺のあゆみの説明板(龍潭寺の西の参道出た先)に伊奈佐郡渭伊の郷の一村として [a勝楽寺、b正楽寺、c莊楽寺] があつたとある。
59. ()]	59. 細江から引佐に入った旧街道に岡という地名の由来看板がある。井伊氏の一族岡彌治郎直藤・直春親子が南北朝の乱で [a城山、b三岳、c千頭ヶ峯] を守つたとある。
60. ()]	60. 渭伊神社の背後の [a稲荷山、b白山、c薬師山] にある県指定の天白磐座遺跡は巨石群を神の依代とした日本屈指の古代祭祀遺跡である。
61. ()]	61. 渭伊神社の森はムササビの森とも言われている。入口の看板には木の穴に住む [a8、b9、c10] 種類の生き物が描かれている。
62. ()]	62. 敵の矢を受けた宗良親王だったが、その傷をこの寺の観音様が身代わりになったという伝説がある。当時の寺の名は [a普門、b円通、c明円] 寺という。
63. ()]	63. 井伊城は井伊家が築いた山城で井伊 [a直虎、b直政、c道政] が宗良親王を迎え京都と鎌倉の中間地であるこの地を拠点とした。
64. ()]	64. 井伊谷宮の御墓の解説に明治天皇は南朝方の貢献者を祀る神社の創建を命じた。井伊谷宮の創建と御墓の修繕が許可された。費用は [a龍潭寺、b井伊家、c政府] が出した。
65. ()]	65. 共保公出生の井戸に井伊直弼が嘉永4年に立ち寄った時に「わきいづる [a岩、b山、c田] 井の水のそこ清みくもりなき世の影を見えつつ」と詠んだ。
66. ()]	66. 引佐の協働センターの東方に井殿の塚・ [a御陵、b監塔、c伽藍] の松とも言われる塚は、井伊直平の息子達が駿河の今川館で傷害された供養に建てられた。
67. ()]	67. 井伊谷宮は旧官幣 [a大社、b中社、c小社] で明治天皇の指示で龍潭寺の境内に建てられ半分が井伊谷宮となった。
68. ()]	68. 井伊谷宮の境内に摂社 井伊社がある。その鳥居に正三位勲三等伯爵井伊直憲とある。明治 [28、b 29、c30] 年に建てられた。
69. ()]	69. 妙雲寺は直虎・南溪和尚のゆかりの寺である。直虎の法名は妙雲院殿月船 [a祐、b椿、c梅] [a大姉として祀られている。
70. ()]	70. 二宮神社の社紋は由来に三宅神社の橘と渭伊神社の井桁を組合せたものである。神社は宗良親王と [a多頭間守、b多幸間守、c多道間守] を祀っている。
71. ()]	71. 龍潭寺境内に直虎も含め井伊家歴代の墓所がある。井伊家の祖 共保から600年、 [a13、b14、c15] の墓石に静かに眠っているとある。
72. ()]	72. 直政(虎松)は南溪和尚のはからいで [a松源寺、b鳳来寺、c秋葉寺] に預けられ15歳になって浜松城主徳川家康の家臣になったとある。
73. ()]	73. 直虎の母は直盛の死後仏門に入り松岳院と名乗り境内に庵を立て直盛の供養をした。直虎も徳政令を受入れた永祿 [a 10、b 11、c12] 年に松岳院(塔頭)に入る。
74. ()]	74. 旧鐘楼に観音大菩薩髣髴銅像が祀ってある。この鐘楼は寛永 [a六年、b七年、c八年] (1631) に建てられた。
75. ()]	75. 境内にある柳の木は、波瀾万丈が続いた井伊家の安泰を念じて井伊直政が幼少のころに植えられた御神木で、高さは [a18、b 19、c20] m とある。
76. ()]	76. 龍潭寺の本堂は県指定文化財で廊下は驚張である。建てられたのは延宝 [a 三、b 四、c五] 年建立とある。
77. ()]	77. 本堂に丈六仏(大仏さま)がある。廃仏毀釈の時、本堂の [a 西、b 東、c前] にあつた大仏殿が壊され、子供たちが仏さまと遊び金箱が剥がれ落ちた。
78. ()]	78. 御霊堂に井伊家の [a 元祖共保公、b 二十二代直盛公、c 二十三代直親公] が祀られている。間違いはどれか。
79. ()]	79. 本堂の横の稲荷堂は江戸時代中、和尚の枕元に稲荷大明神が立ち、このお金で祠を立てるよう夢に出た。朝枕元に [a 3、b 4、c5] 両の小判があつた。
80. ()]	80. 龍潭寺庭園の音声ガイドで「お庭の左右に1ツづつ中央の守護石をしっかりと守りしています」この石は [a 仁王、b 阿吽、c駒] 石と呼ばれている。
81. ()]	81. 彦根市にも龍潭寺がある。韋駄天尊造が本堂の受付横にある。そこに [a 奥山方広寺、b 秋葉山秋葉寺、c鴨江寺] の札が貼ってある。
82. ()]	82. 龍潭寺の本堂に橘紋の [a バケツ、b ろうそく灯、c籠] が5個吊るしてある。
83. ()]	83. 龍潭寺の本堂に井桁の紋が付いた提灯入れが [a 6、b 7、c8] 個掛けである。
84. ()]	84. 龍潭寺の本堂に展示してある山門棟の瓦龍は昭和 [a 54、b 55、c56] 年まで使われていた。
85. ()]	85. 龍潭寺の隣の旧井伊神社本殿、相の間及び本殿は、平成25年2月 [a 26、b 27、c 28] 日指定の彦根市指定文化財(建造物)である。
86. ()]	86. 井伊神社の由来に、天保18年井伊直亮が井伊家の始祖共保公 [a 700、b 750、c800] 回忌に當り創祀したとある。
87. ()]	87. 井伊直弼の生誕地は、 [a 埋木舎、b 本丸、c 玄宮園] 近くである。
88. ()]	88. 世捨て人として井伊直弼は、埋木舎で茶・歌・ぼんをして暮らした。ぼんは [a 謡、b 蹴鞠、c 鼓] の事である。
89. ()]	89. 馬屋の近くに彦根城のレゾリカの乗った郵便ポストがある。彦根城 [a 380、b 390、c400] 年にちなみ設置と後ろに記載がある。
90. ()]	90. 寺町通りに井伊直政が創建したという [a 来迎寺、b 大信寺、c願通寺] の石垣は彦根城の残石で、彦根城と同じ「牛蒡積」になっている。
91. ()]	91. 新野左馬助公神社の入口の所に新野家の居城 [a舟ヶ谷、b八幡平、c高天神] の城山の説明板がある。
92. ()]	92. 同じくその入口の所に根古屋に残る地名の③は [a舟ヶ谷、bとんのや、cじいが谷] である。古い地名が残る所である。
93. ()]	93. 新野左馬武神社社殿(新野左馬助知親矩の墓)の横に、新野佐馬 [a 介、b 亮、c 助] 墓と題した石碑が立つ。
94. ()]	94. 「直虎ゆかりの地」新野左馬助公の里の幟には、井伊家を救った [a 愛、b 心、c情け] の武将と描かれている。
95. ()]	95. 新野左馬助公御墓所とある入口の石柱に、永祿 [a五、b 六、c七] 年に引馬の戦にて討死とある。
96. ()]	96. 松源寺は亀之丞が今川の追手を逃れた所で有名になった。現在、松源寺の立つ場所は大きな城跡で [a 松岡、b 市田、c高岡] 城の遺構も残っている。
97. ()]	97. 高森町の見どころいっぱい「資料館時の駅」の2階のパネル展示に松源寺は天正 [a 4、b 5、c6] 年に創建されたとある。
98. ()]	98. 高森町歴史民俗資料館には、町内の古墳で出土した日本最古の貨幣 [a 和同開珎、b 万年通宝、c 富本銭] が展示されている。
99. ()]	99. 高森町の「直虎ゆかりの地」の幟には [a高森、b三遠南信、c南信州] は見どころいっぱい、魅力いっぱい描かれている。
100. ()]	100. 高森町の地場産品で有名な飯田線の駅は [a市田、b元善光寺、c下平] 駅という。

番外編

彦根市・高森町・御前崎市

■解答用紙送り先 〒431-1301 浜松市北区細江町小野269-4

■締切 平成29年2月10日必着

○申込には受験料が必要です。郵便為替1000円と一緒に解答用紙をお送りください。

出題参考・現地の案内説明板や碑文・看板・標識・展示物・写真等から問題を出題しております。
問題検証：姫街道巻絡協議会 姫街道未来塾、レナーサムライ直虎研究会、館山寺温泉観光協会、各地域の郷土史家

この後のお知らせは、11月初めに姫街道検定と直虎検定のヒントが同時に発行されます。12月初めに姫街道瓦版でもお知らせします。

<p>本場炭焼きの味</p> <p>清水家</p> <p>うなぎ蒲焼</p> <p>浜松市北区細江町気賀 電話 (053) 522-0063</p>	<p>国指定重要文化財</p> <p>初山宝林寺</p> <p>(中国明朝時代の建築様式)</p> <p>浜松市北区細江町中川165-2 電話053-542-1473</p>	<p>三ヶ日温泉湯元</p> <p>ホテルリソテル浜名湖</p> <p>http://www.hotel-hamanako.jp/ 特選ダイナーキング宿泊プラン</p> <p>浜松市北区三ヶ日町瀬戸 電話 (053) 525-1222</p>	<p>浜名湖県立自然公園 国民宿舎</p> <p>奥浜名湖</p> <p>大展望風呂とランチも大人気</p> <p>浜松市北区細江町気賀1023-1 TEL053-522-1115</p>	
<p>井伊家菩提寺</p> <p>龍潭寺もなか</p> <p>伊達子司 あほう</p> <p>浜松市東区有玉北町1503 TEL053-435-3365</p>	<p>浜名湖リゾートクルーズ</p> <p>サイーロイヤルホテル</p> <p>浜名湖リゾートクルーズ 全国うまいもんバイキング</p> <p>浜松市北区細江町中川1712-917 ☎ (053) 487-0711 ☎ 0120-35-1540</p>	<p>姫街道 曲り松 隣</p> <p>有限会社 まるたま</p> <p>製茶工場直売の「深蒸茶」</p> <p>浜松市北区細江町中川1712-917 ☎ 0120-120-517</p>	<p>家康が愛した酒</p> <p>浜松 忍冬酒</p> <p>野末酒店</p> <p>浜松市北区引佐町井伊谷655-1 TEL/FAX 053-542-0071</p>	<p>気賀関所</p> <p>開館時間 午前9時～午後4時30分</p> <p>浜松市北区細江町気賀4577 電話 (053) 523-2855</p>